



学校だより



「令和5年度を振り返って」

校長 櫻田 拓也

春の訪れが待ち遠しい季節となりました。

保護者のみなさま、地域のみなさま、日頃から本校教育活動に深いご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

はじめに、本校高等部で勤務されていた栗栖和則先生、高等部に所属し病氣療養されていた大村郁美先生が、教職の志半ばでご逝去されました。ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、この度、小学部3名、中学部7名、高等部10名の児童生徒が卒業を迎えました。小学部3名の児童は、本校中学部へ、中学部7名の生徒は、本校高等部へとそれぞれ進学する予定です。一方、高等部10名の生徒については、自宅から福祉サービスを利用する人、施設に入所し日中サービスを利用する人など、それぞれが希望する進路先で、4月から新社会人となり働く生活を始めます。早く新しい環境に慣れ、自立という大きな目標に向かって成長されることを願っています。

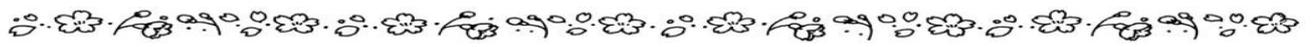
令和5年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、経験や体験を中心とした学習や共同学習を再開することができました。また、運動会やたかよう祭、高等部販売会も制限を一部解除して開催し、子どもたちの学習の成果や成長の様子について発表することができました。大勢の前で発表する経験は、子どもたちの自己有用感を育み、これからの学習への意欲につながると思います。

今年度から本校は、学校運営協議会を設置し「地域とともにある学校づくり」を目指してコミュニティ・スクールとして歩みはじめました。地域とともにある学校とは、①特別支援教育の専門的な教育を提供する学校、②管内の小中学校等に対して特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校、③鷹栖町の人や資源を活用し、鷹栖町とつながる学校の三つを考えています。

これらの実現に向けて、小学部、中学部、高等部、寄宿舍では、地域とともに取り組む地域学校協働活動の実践を行いました。学校運営協議会によって、新たな活動をゼロから企画するのではなく、今まで行ってきた交流及び共同学習や地域体験作業、現場実習、七夕夏祭り等に対して、地域からの応援や協力の幅を広げ、地域の活動に発展させていきたいと考えています。

結びになりますが、令和5年度もお子様の急な送迎等にご理解とご協力をいただきありがとうございました。引き続き、安全・安心な学校づくりに努め、児童生徒の確実な成長、発達を支えていきたいと思っています。一年間ありがとうございました。





＊ 着任式・始業式・入学式のお知らせ ＊

令和6年度の着任式・始業式は4月8日（月）です。

令和6年度小・中学部入学式は4月9日（火）、高等部入学式は4月10日（水）です。

新型コロナウイルス感染症などへの感染予防対策にご協力をお願いいたします。

詳しくは保護者案内文書をご覧ください。

